

## 第280回教員会議・第179回研究科委員会 議事要録

日時：平成31年1月30日(水) 13:30～15:05

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

### 議題

#### 教員会議

#### [審議事項]

##### 1. 入学試験委員会

###### (1) 平成31年度私費外国人留学生入試合否判定について

回収資料に基づき、1月23日に行なわれた私費外国人留学生入試の合否判定を行なった。志願者26名・受験者25名のうち上位5名を合格とすることが提案され、了承された。合格者数の決定には、過去の入学辞退者数を参考にし、本学類の学生定員が160名と減少することを勘案したとの補足説明があった。合格者は中国4名・ベネズエラ1名、男性4名・女性1名であるとの情報提供があった。

##### 2. 学類長

###### (1) 共生システム理工学類のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて

前回の教員会議で提示した資料1の案に特段の意見が無かったことにより、両ポリシーは決定された。

##### 3. 教務委員会

###### (1) 2019年度共生システム理工学類学修案内について

資料2に基づき、作成中である学修案内について内容が説明された。学習ではなく学修という用語を用いるのが全学の方針であること、コースや研究室の配属方法の詳細はガイダンスで説明することとし学修案内への記述は最小限にとどめること、他学類の科目の使用可否等は確認調整中であることなどの補足説明があった。コース毎の履修基準表やカリキュラムマップを確認するように要請があった。

転コースについて質問があり、制度は作るが安易に転コースできるものにならないようにしたい旨の回答があった。問題探求セミナーIIの記載内容について質問があり、本学類では4セメスターに開講し、コース毎に専門性を活かす内容とする方針が説明された。海外演習についての質問があり、自由選択とすることにより開講の負担を軽減する方向であることが説明された。

次回の教員会議で確定させ、その後に微修正が必要な場合は教務委員会で対応することとした。

##### 4. その他

2019年専攻配属の特例措置について、教務委員長から提案があった。2018年までの学習案内に記載された配属要件を満たさない学生も、定員に空きがある専攻のうち希望する専攻に配属するという提案である。意見交換を行い、本提案は了承された。

専攻配属希望を出していない学生には個別対応を行なうこと、希望する専攻に行きたいために留年する覚悟の学生には配属後の転専攻の可能性を説明すること、など丁寧な対応を行なうことへの要望があった。

## 研究科委員会

### [ 審議事項 ]

#### 1. 研究科長

- ( 1 ) 共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて

前回の教員会議で提示した資料3の案に特段の意見が無かったことにより、両ポリシーは決定された。

#### 2. 教務委員会

- ( 1 ) 2019年度共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻博士前期課程学修案内について

- ( 2 ) 2019年度共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻博士後期課程学修案内について

資料4および資料5に基づき、作成中である共生システム理工学専攻の学修案内について内容が説明され、了承された。共生システム特論の担当者や運営方法が検討中であることが報告された。環境放射能学専攻(修士課程)の学修案内については、環境放射能研究所教員のオブザーバー出席を求め、次回の教員会議で決定する予定である。

## 運営会議

### 第120回(1月29日開催)報告

- ( 1 ) 第3期国立大学法人評価「教育研究の状況評価」(案)について  
状況評価案が説明された。

- ( 2 ) 平成29年度会計検査院の決算検査報告説明会について

説明会の概要報告が監事からあったことが報告された。会計検査院がおこなった全ての検査の概要であり、国立大学や福島大学を対象とした検査結果ではない。

- ( 3 ) 平成31年度予算(案)の伝達について

伝達された予算の内容が紹介された。運営費交付金が2億6千万円あまりの増額となっているが、食農学類新設に伴うものが多いとの補足があった。

- ( 4 ) その他

12月の電気・ガス・水道の使用量について

使用量について報告された。水道料が突出して増加している系統の増加理由が説明された。継続的な省エネが要請された。